

## 3月3日のウクライナ情報

安齋育郎

### ① とんでも記事【2024年2月29日】

ハマ스에首をチョン切られた赤ん坊の話はニューヨークタイムズの記者が妄想で書いた記事!!恥を知れと思うけど彼女達にはジャーナリストとは嘘をつく必要がありいかに愚民に残酷かつ詳細に嘘でも過大に伝えるかと言ってます。彼女は悪いとも思っていない。腐ったジャーナリズム。Xにも沢山いるけどね一肩書きだけ東京大学卒と間違えそうになるけど良く見ると東京大学で講義してるだけとかさ。



<https://twitter.com/w2skwn3/status/1763089129028604396?s=09>

※安齋注:ロシア兵のレイプについてさんざんウソ記事を書いたウクライナのリュドミラ・デニソワ(デニソーヴァ)を思い出しますね。

### ②ウクライナは西側に踊らされてる。このままでは国は滅びる(ジョン・ミアシャイマー、2023年2月)

<https://youtu.be/KV7lyV0tEq4>



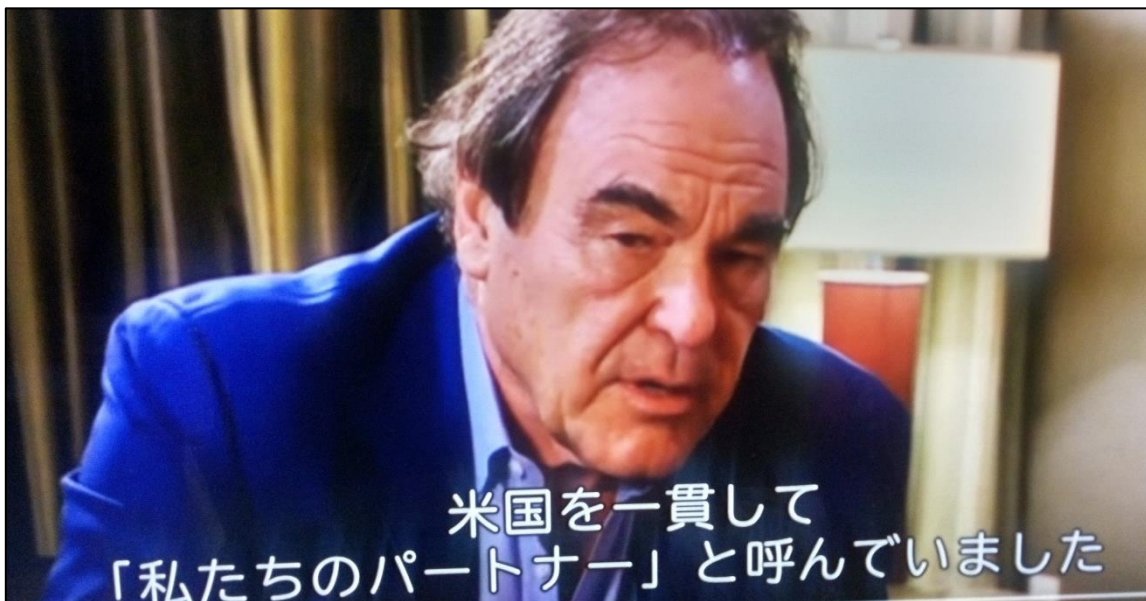
<https://www.youtube.com/watch?v=KV7lyV0tEq4>

③【通訳字幕あり】プーチン大統領 年次教書演説 生中継(2024 年 2 月 29 日)/  
Putin addresses a gathering of both houses of parliament  
<https://youtu.be/Z2MtHqGtfl8>



<https://www.youtube.com/watch?v=Z2MtHqGtfl8>

④ オリバー・ストーンの前プーチン・インタビューについてのインタビュー(既報)  
<https://youtu.be/i0emsim6kcw>



<https://www.youtube.com/watch?v=i0emsim6kcw>

⑤ウクライナ敗北なら NATO はロシアと戦うことになる = 米国防総省(2024年 3 月 1 日)

現在の紛争におけるウクライナの敗北は、NATO とロシアの軍事衝突を脅かしている。米国のオースティン国防長官が 29 日、米下院の公聴会で述べた。

「率直に言えば、ウクライナが倒れた場合、NATO はロシアとの戦いを始めることになる」と私は実際に考えている」

オースティン氏はまた、ウクライナでロシア軍が前進を続け、徐々に成果を収めているという評価に

ついて、非常に懸念すべきことだと指摘した。

ロシア外務省のザハロフ報道官はオースティン氏の発言についてコメントし、「今や誰もが侵略者はワシントンであることを理解している」と述べた。

西側諸国では最近、NATO とロシアの直接的な武力紛争に関する案がより頻繁に語られるようになってきている。ロシア大統領府は、ロシアは脅威ではなく、誰も脅していないが、ロシアの国益にとって潜在的に危険な行動を無視するつもりはないと指摘した。



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1763264232173326728?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1763264232173326728?s=09)

## ⑥日本の報道と全然違うじゃねえか(2024年2月29日)

※投稿者コメント:プーチン大統領はデルバントの住民達と話をする為に外へ出た。大勢の人々は愛するリーダーが目の前に現れ興奮の渦に包まれた。

<https://twitter.com/i/status/1763202937868968337>



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1763264232173326728?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1763264232173326728?s=09)

## ⑦【プーチンの言葉・計算違い】(2024年2月29日)

私たちは内政干渉を誰にも許さない。  
世界中の植民地化と内戦の煽動が習慣になっている西側の呼びかけは、我が国の発展を阻もうとし

ているだけでなく、このロシアの地に、彼らが好き勝手にできる依存と退廃、半死に至る余地を欲している。

実際に彼らは、ウクライナを含め世界中の他の国々でやってきたことをロシアでやりたがっている。私たちの家に不和を持ち込み、中から弱体化させたがっているのだ。

だが、彼らの計算は狂った。

彼らが、私たち多民族国家の確固とした立場と決意に直面した今日、それが完全に明白になっている。

<https://twitter.com/i/status/1763215426912399365>



<https://twitter.com/Kumi japonesa/status/1763215432675442943>

### ⑧ネベンジャ国連大使：アメリカ人の同僚に返答したい(2024年2月29日)

ウクライナとガザの状況を比較するのは恥ずかしいことだ。

まず第一に、あなたの言うことに反して、ロシア連邦はウクライナの市民を野蛮な砲撃の対象にしていない。この2つを比較することは絶対に不可能だ。

第二に、この問題について誰が私たちに教訓を与えてくれるのだろうか？ イラク、アフガニスタン、シリアを破壊し、その裏でユーゴスラビアを含むこれらの国々を野蛮な爆撃で破壊した国が？

他人の目の「シミ」を見ようとする前に、自分の目の「丸太」を見なさい。

※安斎注:「丸太」と訳されているが、多分「胴体」のこと。

<https://twitter.com/i/status/1762860632096084185>



<https://twitter.com/Z58633894/status/1762860632096084185?s=09>

## ⑨ロシアはドイツの軍事的準備を注視している(ザハロフ、2024年2月28日)

ザハロフ報道官は「ドイツの軍事指導部トップの提案により、ロシアとの差し迫った軍事衝突というテーゼが、国民の意識に再び導入されつつある」、「ドイツが現実的な意味で既に取り替えている全ての行動に対し、適切な対応を行う」とブリーフィングで述べた。

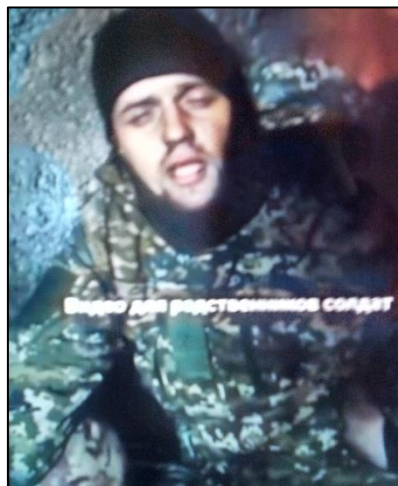


<https://twitter.com/tobimono2/status/1762848399102185953?s=09>

## ⑩”攻撃に次ぐ攻撃、砲撃に次ぐ砲撃:”精鋭 ”AFU 空挺部隊は部隊ごと降伏した(2024年2月28日)

ノヴォミハイロフカ近郊での攻撃作戦中、別の AFU(ウクライナ軍)部隊がロシアの戦闘機に投降した。今回は、2014 年以来ドンバスで粉碎されたことで知られる第 79 空挺旅団の部隊である。

<https://twitter.com/i/status/1762826327328247983>



<https://twitter.com/Z58633894/status/1762826327328247983?s=09>

## ⑪「次々と偽情報ばかり」元 CIA アナリストがウクライナにおける米国のスパイ活動を暴露(2024年2月27日)

元 CIA アナリスト、米国務省対テロ局の専門家のラリー・ジョンソン氏はスプートニクからのインタビュ

ユーに答え、ウクライナのクーデターを組織した米国、英国の役割、2014年にマイダンで実際は何が起きたかについて、米ニューヨークタイムズ紙は嘘をついていると語った。

ニューヨークタイムズ紙は、ロシアとの国境付近に12のスパイ基地を展開させるために米国がウクライナに協力を行っていたのは過去8年間だとする記事を発表した。

NYTは、ウクライナとCIAのパートナーシップの開始は、2014年2月24日(編集:2月22日のユーロマイダン終結直後)にまで遡ると報じている。記事には当時、ウクライナ保安庁の長官に就任したばかりのナリヴァイチェンコ氏が米CIAと英MI6に電話をかけ、「三国間パートナーシップを提案した」と書かれている。記事のこの部分の記述をジョンソン氏は「これは嘘だ」と指摘している。

「我々の(ウクライナ内の反ソ連・反ロシア勢力との)つながりは1955年からあった。つまり、CIAがバンデラ派との協力に役割を演じはじめたのは、1940年代後半から1950年代前半にまでさかのぼる。NYT紙は、あたかもこれが10年、15年来の新しい関係であるかのように装おうとしている。それはナンセンスだ」

ジョンソン氏はまた、NYTの記事には、ウクライナは2016年から米国との協力条件に体系的に違反し、「暗殺やその他の致命的な作戦を組織」をあたかも米国側の承認なしに行っている、と書かれている点を指摘した。

ジョンソン氏は、これは「責任はすべて、ウクライナ人に負わせるべき」という新たなシナリオであり、米政権に「ウクライナのプロジェクトは終了する」という意図があることの表れだと語っている。ジョンソン氏は、この情報漏洩が前線でロシアが次々に成功し、ウクライナへの武器供給が問題化している実情を背景に起きたことを考えると、その意図が殊更よくわかると補足した。



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1762463304532758887](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1762463304532758887)

## ⑫BRICSのほとんどが自国通貨での決済・ドル脱却を支持(2024年2月29日)

BRICS 財務相・中央銀行総裁の会合が28日に行われ、参加したほとんどの国が、自国通貨での支払いが必要なものであると指摘し、ドルからの脱却を支持した。ロシアのイワン・チェバスコフ副財務大臣がスプートニクに語った。

チェバスコフ氏は「このテーマは議論の枠組みの中で非常に差し迫った問題だった」と指摘。

「我々はすでに10か国からなる大きなBRICSファミリーだ。ほとんどの国が新たな決済メカニズムを構築する必要性を支持した。また、中央銀行のデジタル通貨開発における経験のほか、プラットフォーム構築やさまざまなプラットフォームの試験運用への参加経験を共有した」

チェバスコフ氏は「全体として、BRICS内で貿易額を増やし、経済関係を強化するためには、もちろん自国通貨による独立した決済メカニズムが必要であるという、かなり良い反応を得た」と話した。



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1763033184743383324?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1763033184743383324?s=09)